

がつ ぎょうじよてい 1月の行事予定

にちようび 日曜日	げつようび 月曜日	かようび 火曜日	すいようび 水曜日	もくようび 木曜日	きんようび 金曜日	とようび 土曜日
						1 ・元旦 ・休館日
2 ・休館日	3 ・休館日	4 ・仕事始め ・フォークダンス ・卓球	5 ・曲暮 ・スマイルジュニア ・ふれあい料理 教室① (当分の間中止)	6 ・貯筋体操 ・パソコン ・周辺地域巡回 事業 ・ふれあい喫茶 (当分の間中止)	7 ・卓球	8 ・曲暮
9	10 ・成人の日	11 ・フォークダンス ・卓球 ・各種相談日	12 ・曲暮 ・スマイルジュニア	13 ・パソコン	14 ・卓球	15 ・曲暮
16	17 ・曲暮 ・ふれあい料理 教室② (当分の間中止)	18 ・フォークダンス ・卓球	19 ・曲暮 ・スマイルジュニア	20 ・貯筋体操 ・パソコン	21 ・卓球	22 ・曲暮
23	24 ・曲暮	25 ・フォークダンス ・卓球	26 ・曲暮 ・スマイルジュニア	27 ・貯筋体操 ・パソコン	28 ・卓球	29 ・曲暮
30	31 ・曲暮					

あさひぶんかかいかん 朝日文化会館

か い か かん

会館だより

だい 465号 令和4年1月号

あさひぶんかかいかんれんらくさき
朝日文化会館連絡先
じゅうしょ しこくちゅうおうしみしまあさひ ちょうめ ばん ごう
住所：四国中央市三島朝日3丁目5番30号
TEL：0896-28-6070
FAX：0896-28-6104



【お知らせ】

あさひぶんかかいかん がいかん
【朝日文化会館の外観】

- ふれあい喫茶 (百円モーニング) **新型コロナウイルスが終息するまでの間、中止します。**
- ふれあい料理教室①② **新型コロナウイルスが終息するまでの間、中止します。**
- 周辺地域巡回事業 1月6日(木) 16時～、三島地域
- 各種相談日 1月11日(火) 10時～
- 仕事始め 1月4日(火)

じんけんそうだん せいかつそうだん こま じゅうごう なん はなし き いっしょ かんが
人権相談、生活相談、困っていること、何でも話に来てください。一緒に考えます。



きん が しん ねん 謹 賀 新 年



新年あけましておめでとうございます。コロナ禍ではありますが、コロナの終息を願い、新年をお迎えのことと存じます。

今回新しいコロナウイルスの変異株が確認されています。会館としては、感染予防に努めながら、人と人がつながっていける取り組みをできることから進めていきたいと思っております。

さて、2020年愛隣連主催の西条フィールドワーク時にいただいた資料の中の江嶋修作さんの講演『「いま ここ」にある差別に、「いま」「ここで」取り組む』の紹介文を読みました。『差別は日常生活のネットワーク、具体的人間関係の中で生起する。昔から「あった」から問題ではなく、「今ある」から問題なのである。今日的、現実的課題である差別は、昔だれかが作ったから「ある」のではなく、私たち自身が作っているから「ある』』と述べています。

「いま、ここ」にある差別に、どう取り組んでいくか、その姿勢を問うていると思っております。

朝日文化会館で同和問題を自分自身の問題として捉え、取り組んでいる隣保館学習会があり、昨年は感染対策として8月の予定が11月にやっと再開でき計5回実施できました。三島地域の全教職員が参加して、同和問題と向き合い自らの生き方について考え、差別解消にむけた思いを確立しようとしています。

「自分の立ち位置はどこか」「自分にできることは何か」「自分はどのように行動しているか」、自分の問題として捉えたことを話し合い、次へ繋げようとしています。

現在もなお部落差別が存在することを初めて明記した「部落差別解消の推進に関する法律」が公布・施行されて5年が過ぎました。

なぜ部落差別は存在するのでしょうか。それは差別をする人、差別を許す人がいるからです。差別をするのも人。差別をなくせるのも人。そっとしておいておくだけでは、差別は自然にはなくなりません。自分自身の問題として捉え、なくす努力をしていくことが差別をなくすることに繋がるのです。

そのために、同和問題の正しい理解と認識を深めることが大切です。会館職員一同、いろいろな活動を通して人と人をつなぎ人権と福祉のまちづくりの拠点となるよう努めてまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

館長 白田 敏子



人権のまちづくり講演会 (講師 石田伸一さん)

演題は「寄り添うということ」です。東日本大震災を乗り越えての話の中で寄り添うということを見つめ話してくださいました。

- 震災で壊された「ガレキ」と放送されたが、被災者にとってかけがえのないものもある。一言で片づけられない。NHKは、「壊された建物」と表現した。
- 釜石の出来事（奇跡とは言わない）
全員避難していたが、まわりを助けに行った5名の人になくなっていて。そのことを考えると奇跡と言えない。言わない。
- 絵本「ひまわりのおか」
震災にあった大川小学校の児童のお母さんが、ひまわりを育てているお話です。筆者（葉方周さん）がひまわりの丘を訪ねるたびに、聞かせてくれたお母さんたちの話は深い愛情に溢れ、深い悲しみに満ちていました。お母さんたちは、いつでもどこでも子供たちのことを思い、子供たちはお母さんと一緒に生きている。このことを絵本で伝えたと筆者は述べています。（あとがきにかえてより）
- 現場で一緒になって泣き笑い共に生きていくことが寄り添うことに繋がることを学ばせていただきました。

（白田敏子）

朝日文化会館人権フェア

【演題】「感性に問う人権・同和教育」～心の土を耕して～

【講師】 四国中央市教育委員会生涯学習課 社会教育指導員 星川ひとみ さん

【日時】 令和4年2月4日（金）19時～

【場所】 朝日文化会館 2階 大ホール